

全国学校薬剤師担当者会議報告書

山口県薬剤師会 学校薬剤師部会長 西村正広

日 時：平成19年2月18日(日)午後1時00分～4時

場 所：日本薬剤師会会議室

プログラム

司会：日本薬剤師会学校薬剤師部会副部会長 永野孝夫

1. 挨拶 日本薬剤師会会長 中西敏夫

2. 学校が救護所等になった場合の薬剤師の係わり
「はじめに」 日本薬剤師会副会長 児玉 孝

「新潟県中越地震の場合」

- 新潟中越地震における学校薬剤師会の対応 -

新潟県薬剤師会学薬部会長・新潟県学校薬剤師会会長 新澤 彰

- 震災における学校薬剤師活動 -

長岡市薬剤師会理事 廣橋義和

「阪神・淡路大震災の場合」

兵庫県薬剤師会常務理事 中澤 涉

3. 学校薬剤師活動に関する日本薬剤師会の考え方

座長：日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事 伊沢一郎

日本薬剤師会常務理事・日本薬剤師会学校薬剤師部会長 藤垣哲彦

感想：

1. 新潟県中越地震及び阪神淡路大震災における薬剤師会の対応を報告された。
児玉副会長は、経験を踏まえ、今後は学校薬剤師の係わりが大切であると強調された。

2. 日本薬剤師会 学校薬剤師活動方針案(たたき台)を藤垣部会長が説明された。

A. 学校保健法の定める学校薬剤師活動の充実と徹底

B. 社会的要請に基づく学校薬剤師活動の拡大と拡実

1. 医薬品の適正使用啓発活動

2. 薬物乱用防止啓発活動

3. アンチ・ドーピングに関する啓発活動

4. 健やか親子21啓発活動

5. 学校環境へ悪影響を及ぼす化学物質等への対応

6. 災害時の対応

7. 実務実習への対応

以上をそれぞれの学校薬剤師、支部薬剤師会(学校薬剤師部会)、都道府県薬剤師会(学校薬剤師部会)、日本薬剤師会(学校薬剤師部会)にわけて活動方針を出されている。なかなかよくできた活動方針であるが、絵に描いた餅にならないようにしてほしいとの意見があった。平成19年度は、学薬部会費を300万円弱から1100万円に増額する予算を計上する予定である。4月に具体的な活動計画を立てると説明された。報酬の全国調査、薬物乱用防止の実態調査をしてほしいとの意見があった。また、日学薬との関係もとりだたされ、学薬の組織をしっかりとしたものにしてほしいとの意見があった。

中西会長も挨拶で、日本薬剤師会は今まで学校薬剤師活動においては、どちらかといえば傍観していた感があった。これからは、きちんと対応していきたいと言われていました。日本薬剤師会学校薬剤師活動方針が、きちんと実行されることを願います。